

養成すべき人材像

2017年に産学官金からなるコンソーシアムで協議・決定。
養成すべき人材を、「グローバル人材」として明確化。



【教育カリキュラム(グローバル・リーダーシップ・プログラム(GHKGカリキュラム)の構築)

コンソーシアム加盟10高等教育機関からなるカリキュラム
部会で協議、コンソーシアムの承認を得て決定。

①群馬県に愛着を持ち、群馬県の社会・経済・文化等の**持続可能性を高める**ことに貢献できる人材。

②群馬県を拠点に、グローバルな視点で高度人材として活躍する**グローバル地域創生の担い手**としての企画力・実践力を備える人材。

③生まれ育った文化や社会が異なる人々が、それぞれの特性を活かしながら、共に暮らし働く多文化共生・ダイバーシティ社会を生きる**コミュニケーションカ・リーダーシップ力**を備える人材。

GHKGキャリア教育(必修)
コアカリキュラム(コース間共通)

実践力強化

GHKGキャリア教育(コース選択必修)
【1】「まちづくりとグローバル・コミュニケーション」コース
【2】「グローバル地域創生と企業」コース

学生の興味関心の
多様性に対応

実践力強化

GHKGビジネス日本語

応用力強化

GHKGインターンシップ

GHKG【地域対応型】インターンシップ
地域における持続可能性をグローバルな視点で活性化する「地域課題解決型」インターンシップ。自治体との連携で推進。群馬への愛着が高まる。

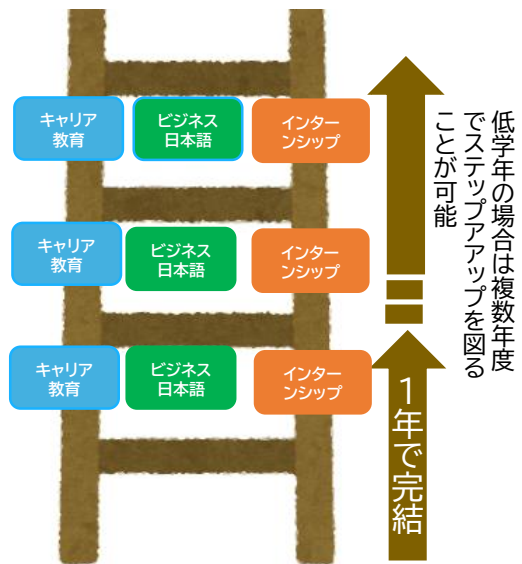
GHKG【業界対応型】インターンシップ
業界・企業の特徴を過去・現在・未来の姿から描き、理解を深める。企業と協働で、グローバルな視点からインターンシップを通して、さまざまなビジネスモデルが誕生。自己効力感が高まる。

教育理念・視点に「持続可能な開発目標(SDGs)」・
With&Afterコロナ・ESG投資を活用。20年後を見据えた世界・母国・群馬で自分が貢献できることを考えさせる。



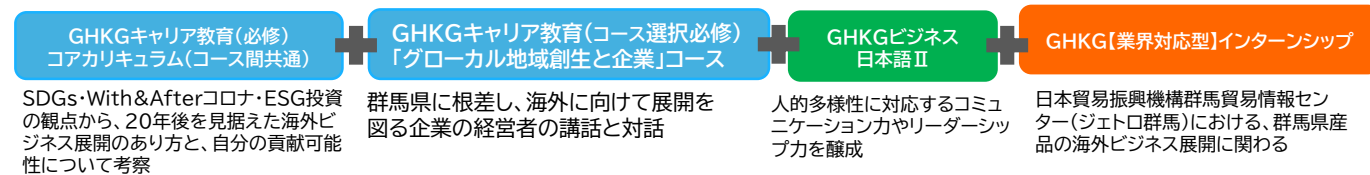
グローバル・リーダーシップ・プログラム履修の特徴

1年制ラダーシステム



- 学部・大学院のどの学年からでも、年度初めから1年間の履修が可能。
- 1年間で、GHKG関連科目「キャリア教育」1科目、「ビジネス日本語」1科目、「インターンシップ」2科目の履修が必修。
- 学生自身の興味・関心、専門領域、就職活動準備状況から科目を自身で選択。
- 1年ごとに段階的にステップアップを図ることを目的に、複数年度の履修希望する学生も支援。(例)1年目:就職活動準備期に対応する履修→2年目:就職活動模索期に対応する履修。
- 国家資格キャリアコンサルタント(常勤教員)が、キャリアカウンセリングを実施し、履修科目の学生による選択決定を支援。

グローバル・リーダーシップ・プログラムの実施例



グローバル・リーダーシップ・プログラムの効果

- 「全カリキュラム修了」とは、1年間で、GHKG関連科目の「キャリア教育」1科目、「ビジネス日本語」1科目「インターンシップ」2科目を終了したことを示す。「一部カリキュラム修了」とは、これらの科目のうち一部の科目を修了したことを示す。

		2018年度			2019年度			2020年度		
		人数	母数	%	人数	母数	%	人数	母数	%
日本国内の企業への就職率	全カリキュラム修了	5	5	100.0	9	9	100.0	15	16	93.8
	一部カリキュラム修了	22	33	66.7	34	45	75.5	29	52	55.8
	カリキュラム受講せず	73	150	48.7	54	108	50.0	37	130	28.5
群馬県内の企業への就職率	全カリキュラム修了	4	5	80.0	4	9	44.4	10	16	62.5
	一部カリキュラム修了	11	33	33.3	11	45	24.4	14	52	26.9
	カリキュラム受講せず	5	150	3.3	15	108	13.9	21	130	16.2